

■ 討論会（入場無料・一般入場可）

7月7日（水）（第1日目）

10：00～13：00（ソニックシティホール2階 小ホール）

名称	コンクリート構造物の長期性能シミュレーションソフト作成委員会
主催	コンクリート構造物の長期性能シミュレーションソフト作成委員会 委員長：武若 耕司
集会形式	LECCA2 体験講習会
概要	<p>本委員会は、平成14年より2年間にわたって研究委員会所管の委員会として活動した「コンクリート構造物の長期性能照査支援モデル研究委員会」を母体とし、平成16年度よりコンクリート構造物の長期性能シミュレーションプログラム：LECCA（Life time Evaluation Program for Concrete Structures by Computational Analysis）シリーズの開発と販売を目的とした活動を進めている。本委員会で取り扱っているLECCAシリーズソフトは下記の通り。</p> <p>【LECCA1】：マクロ環境データベースならびに環境外力算定ソフト 【LECCA2】：コンクリート構造物の劣化シミュレーションソフト（平成22年1月販売開始）</p> <p>本講習会では、1月に開催したLECCA2作成報告会において十分な時間のとれなかったデモンストレーションおよび参加者の体験使用をメインとする。JCIで開発しているLECCAシリーズに対する認知度を高めるとともに、実際のユーザー側となる参加者との活発な意見交換を通じ、より効果的かつ応用的な利用方法を開拓することにもつながると考えている。</p>

7月7日（水）（第1日目）

13：15～15：30（ソニックシティホール2階 小ホール）

名称	残コン・戻りコンの発生抑制および有効利用に関する技術討論会
主催	残コン・戻りコンの発生抑制および有効利用に関する技術検討委員会 委員長：十河 茂幸 JCI 関東支部埼玉地区 常任委員：澤本 武博
集会形式	パネルディスカッション
概要	<p>国土交通省の残コン・戻りコンに関する調査によれば、残コン・戻りコンの量はレディミクストコンクリート出荷量の約1.6%と、決して少ない量ではない。そこで、主催委員会では、建設工事で生じる残コン・戻りコンを対象として、その実態を調査・分析し、発生抑制のための具体的な方策の検討、有効利用の提案、環境への負荷低減などの評価、さらには関連規準類に対する課題と解決のために提案などを検討している。この討論会では、残コン・戻りコンの発生抑制及び有効利用に関する技術検討委員会の活動成果の一部を紹介するとともに、共同開催者の関東支部埼玉地区との共同のパネル討論により、埼玉県内で生じている問題点や地域差などを含めた残コン・戻りコンの発生抑制および有効利用の方法などについても議論する。</p>

7月8日(木)(第2日目)

9:15~12:15 (ソニックシティホール 2階小ホール)

名称	特別講演会「コンクリートの自己治癒技術の最前線と将来展望」 International Workshop on SELF-HEALING CONCRETES －Frontline Technologies and Their Prospects－
主催	セメント系材料の自己治癒技術の体系化研究専門委員会 委員長：五十嵐 心一 (JCI-TC091A: Technical committee on self healing / repairing technology in cement-based materials)
集会形式	特別講演会(Special lectures)
概要	<p>コンクリートの自己治癒技術開発において牽引役を果たしてきた世界的に著名な3名の研究者を招き、最先端の研究動向に関するお話を伺う。招待講演者は以下のとおりである。The international workshop on self-healing concretes will be held in conjunction with the JCI annual conference. Three lectures are given by the leading experts in the field. Invited Speakers are as follows;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. Dr. E. Schlangen (Technical University Delft, The Netherlands) "Recent advances on self healing of construction materials"</li><li>2. Prof. V.C. Li (University of Michigan, USA) "Self-Healing in ECC"</li><li>3. Prof. H. Mihashi (Tohoku Institute of Technology, Japan) "Smart Concrete - self-control, self-healing and self-repairing"</li></ol> <p>(開演時間は9:15です。セッション開始時刻とは異なりますのでご注意ください。)</p> <p>Attention: The workshop begins at 9:15 AM. It is earlier than other technical sessions. This is a good opportunity to follow the most advanced technology in sustainable concretes. Everybody is welcome. Don't miss it.</p>

7月9日(金)(第3日目)

09:15~12:15(ソニックシティホール 2階小ホール)

名称	コンクリート基本技術調査委員会
主催	コンクリート基本技術調査委員会 委員長：山本 泰彦
集会形式	パネルディスカッション
概要	コンクリート基本技術調査委員会は、コンクリート分野の基本的な要素技術に関し、それぞれの在り方を現場の実状も勘案して再検討し、得られた成果を JCI の技術情報として管理・発信していくことを活動目的としており、当初は「打込み・締固め WG」、「養生 WG」、「不具合の補修技術 WG」の3つの WG を立ち上げた。その後、2009 年度に「圧送 WG」、2010 年度に「細骨材の品質 WG」および「配(調)合 WG」を発足させた。年次大会(さいたま)では、これら全 WG の活動内容と活動成果の一部を紹介するとともに、フロアから WG 活動の内容に関するご意見・ご要望などを広く募ってそれらを今後の WG 活動に生かすことを目的としたパネル討論会を開催する。